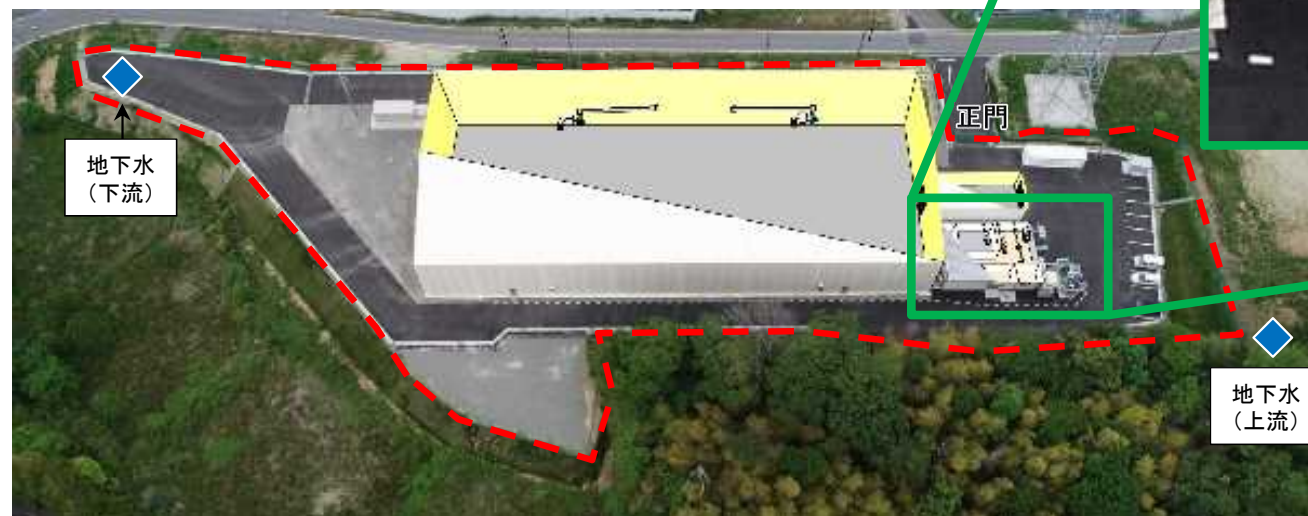
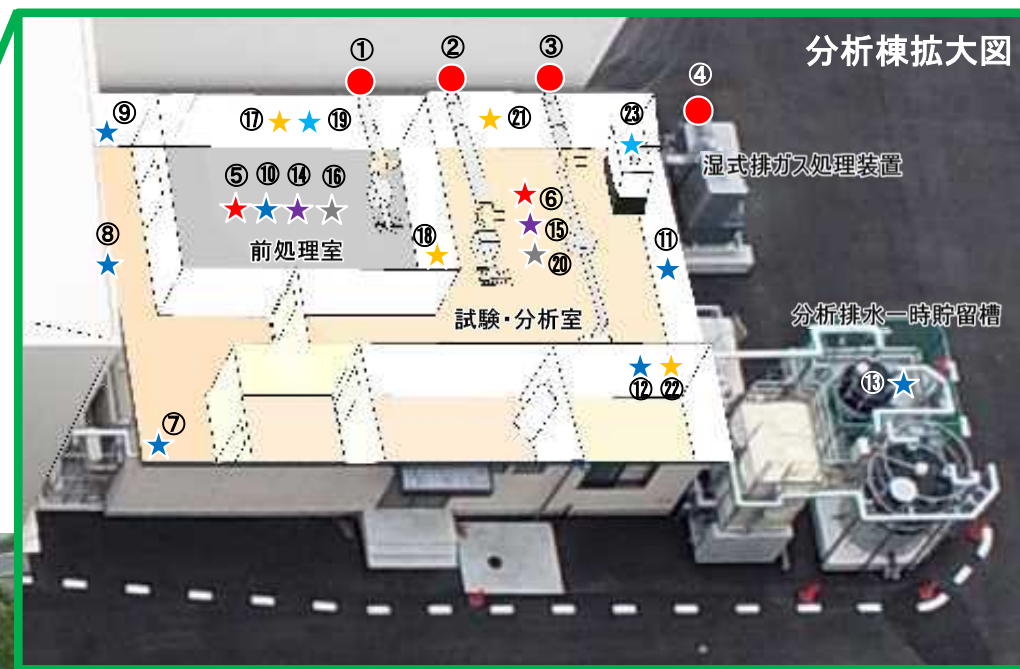


飛灰洗浄処理技術等実証施設における 周辺環境及び作業環境測定地点（月次測定）



☆：施設の位置



【凡例】

- | | | |
|-------------------|--------------|-------------|
| ◆：地下水(井戸)中の放射能濃度等 | ●：排気中の放射能濃度 | ★：粉じん濃度 |
| ★：空間線量率(作業環境) | ★：空気中の放射能濃度 | ★：表面汚染密度(床) |
| ★：表面汚染密度(壁) | ★：表面汚染密度(設備) | --- |
| | | ---：敷地境界線 |

飛灰洗浄処理技術等実証施設における 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年3月

◆地下水（井戸）中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2021/7/21	(稼働前)	14
	2022/3/10	(稼働後)	13
下流	2021/7/21	(稼働前)	12
	2022/3/10	(稼働後)	13

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2021/7/21	(稼働前)	13
	2022/3/10	(稼働後)	15
下流	2021/7/21	(稼働前)	7.0
	2022/3/10	(稼働後)	6.7

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2021/7/21	(稼働前)	ND	ND
	2022/3/10	(稼働後)	ND	ND
下流	2021/7/21	(稼働前)	ND	ND
	2022/3/10	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m ³ N)	Cs-137 (Bq/m ³ N)
		測定日			
①前処理室	円盤ろ紙	2022/3/10	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/3/10	(稼働後)	ND	ND
②試験・分析室	円盤ろ紙	2022/3/10	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/3/10	(稼働後)	ND	ND
③ICP分析装置	円盤ろ紙	2022/3/11	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/3/11	(稼働後)	ND	ND
④湿式スクラパー	円盤ろ紙	2022/3/11	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/3/11	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m ³)
	測定日		
⑤前処理室	2022/3/10	(稼働後)	ND
⑥試験・分析室	2022/3/10	(稼働後)	ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日		
スクリーニング室	⑦西	2022/3/10 (稼働後)	0.20
前室	⑧北	2022/3/10 (稼働後)	0.12
	⑨東	2022/3/10 (稼働後)	0.13
前処理室	⑩中央	2022/3/10 (稼働後)	0.22
試験・分析室	⑪南	2022/3/10 (稼働後)	0.14
	⑫西	2022/3/10 (稼働後)	0.12
分析排水一時貯留槽	⑬表面	2022/3/10 (稼働後)	0.22

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
	測定日			
⑭前処理室	2022/3/10	(稼働後)	ND	ND
⑮試験・分析室	2022/3/10	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
	測定日			
前処理室	床	⑯中央	2022/3/10 (稼働後)	ND
	壁	⑰東	2022/3/10 (稼働後)	ND
		⑰西	2022/3/10 (稼働後)	ND
	設備	⑱ヒュームフード	2022/3/10 (稼働後)	ND
試験・分析室	床	⑳中央	2022/3/10 (稼働後)	ND
	壁	㉑東	2022/3/10 (稼働後)	ND
		㉑西	2022/3/10 (稼働後)	ND
	設備	㉒ドラフトチャンバー	2022/3/10 (稼働後)	ND

表面汚染密度検出下限値：0.20 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

飛灰洗浄処理技術等実証施設における 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年2月

◆地下水（井戸）中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2021/7/21	(稼働前)	14
	2022/2/9	(稼働後)	12
下流	2021/7/21	(稼働前)	12
	2022/2/9	(稼働後)	12

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2021/7/21	(稼働前)	13
	2022/2/9	(稼働後)	13
下流	2021/7/21	(稼働前)	7.0
	2022/2/9	(稼働後)	7.6

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2021/7/21	(稼働前)	ND	ND
	2022/2/9	(稼働後)	ND	ND
下流	2021/7/21	(稼働前)	ND	ND
	2022/2/9	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m ³ N)	Cs-137 (Bq/m ³ N)
		測定日			
①前処理室	円盤ろ紙	2022/2/9	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/2/9	(稼働後)	ND	ND
②試験・分析室	円盤ろ紙	2022/2/9	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/2/9	(稼働後)	ND	ND
③ICP分析装置	円盤ろ紙	2022/2/10	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/2/10	(稼働後)	ND	ND
④湿式スクラパー	円盤ろ紙	2022/2/10	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/2/10	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m ³)
	測定日		
⑤前処理室	2022/2/9	(稼働後)	ND
⑥試験・分析室	2022/2/9	(稼働後)	ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日		
スクリーニング室	⑦西	2022/2/9 (稼働後)	0.21
前室	⑧北	2022/2/9 (稼働後)	0.14
	⑨東	2022/2/9 (稼働後)	0.12
前処理室	⑩中央	2022/2/9 (稼働後)	0.19
試験・分析室	⑪南	2022/2/9 (稼働後)	0.13
	⑫西	2022/2/9 (稼働後)	0.11
分析排水一時貯留槽	⑬表面	2022/2/9 (稼働後)	0.20

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
	測定日			
⑭前処理室	2022/2/9	(稼働後)	ND	ND
⑮試験・分析室	2022/2/9	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
	測定日			
前処理室	床	⑯中央	2022/2/9 (稼働後)	ND
	壁	⑰東	2022/2/9 (稼働後)	ND
		⑱西	2022/2/9 (稼働後)	ND
	設備	⑲ヒュームフード	2022/2/9 (稼働後)	ND
試験・分析室	床	⑳中央	2022/2/9 (稼働後)	ND
	壁	㉑東	2022/2/9 (稼働後)	ND
		㉒西	2022/2/9 (稼働後)	ND
	設備	㉓ドラフトチャンバー	2022/2/9 (稼働後)	ND

表面汚染密度検出下限値：0.21 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

飛灰洗浄処理技術等実証施設における 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年1月

◆地下水（井戸）中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2021/7/21 (稼働前)		14
	2022/1/14 (稼働後)		13
下流	2021/7/21 (稼働前)		12
	2022/1/14 (稼働後)		13

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2021/7/21 (稼働前)		13
	2022/1/14 (稼働後)		14
下流	2021/7/21 (稼働前)		7.0
	2022/1/14 (稼働後)		8.1

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2021/7/21 (稼働前)		ND	ND
	2022/1/14 (稼働後)		ND	ND
下流	2021/7/21 (稼働前)		ND	ND
	2022/1/14 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m ³ N)	Cs-137 (Bq/m ³ N)
		測定日			
①前処理室	円盤ろ紙	2022/1/13 (稼働後)		ND	ND
	ドレン部	2022/1/13 (稼働後)		ND	ND
②試験・分析室	円盤ろ紙	2022/1/13 (稼働後)		ND	ND
	ドレン部	2022/1/13 (稼働後)		ND	ND
③ICP分析装置	円盤ろ紙	2022/1/14 (稼働後)		ND	ND
	ドレン部	2022/1/14 (稼働後)		ND	ND
④湿式スクラパー	円盤ろ紙	2022/1/14 (稼働後)		ND	ND
	ドレン部	2022/1/14 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.3 Bq/m³N、セシウム137：0.3 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m ³)
	測定日		
⑤前処理室	2022/1/25 (稼働後)		ND
⑥試験・分析室	2022/1/25 (稼働後)		ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日		
スクリーニング室	㉚西	2022/1/13 (稼働後)	0.18
前室	㉛北	2022/1/13 (稼働後)	0.11
	㉜東	2022/1/13 (稼働後)	0.11
前処理室	㉝中央	2022/1/13 (稼働後)	0.21
試験・分析室	㉞南	2022/1/13 (稼働後)	0.12
	㉟西	2022/1/13 (稼働後)	0.11
分析排水一時貯留槽	㊱表面	2022/1/13 (稼働後)	0.22

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
	測定日			
④前処理室	2022/1/13 (稼働後)		ND	ND
⑤試験・分析室	2022/1/13 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
	測定日			
前処理室	床	㉝中央	2022/1/13 (稼働後)	ND
	壁	㉞東	2022/1/13 (稼働後)	ND
		㉟西	2022/1/13 (稼働後)	ND
	設備	㊱ヒュームフード	2022/1/13 (稼働後)	ND
試験・分析室	床	㉞中央	2022/1/13 (稼働後)	ND
	壁	㉟東	2022/1/13 (稼働後)	ND
		㊱西	2022/1/13 (稼働後)	ND
	設備	㊱ドラフトチャンバー	2022/1/13 (稼働後)	ND

表面汚染密度検出下限値：0.21 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²